



JCNA 2007年度テーマ

いのちの光・寄り添う看護

「みことばは人となり、私たちのうちに宿られた」ヨハネ1の4

第51回日本カトリック看護協会全国総会のご報告

2007年度のJCNA全国総会は、5月26日(土)名古屋・南山学園研修センターにて開催されました。以下に主な事項をご報告申し上げます。

総会は先ず、聖歌と「会員の祈り」をもって始められ、会長および顧問司祭の短い挨拶に続いて報告と審議が行われました。

I. 報告事項

1. 第48回(2006)JCNA全国大会について

すでにJCNA通信No.4にて各会員にご報告いたしましたが、今回、本部の責任で実施した全国大会は、会員各位のご協力により、成功裡におえることができました。

今回は特にカトリック関連施設を活用できたことにより費用の軽減が可能になりました。南山教会、神言会、南山学園、聖霊病院などより多大な協力をいただきました。

大会誌は「講演集」として各会員にすでに配布されていますが、その内容は、第一講演の城麗子氏「いのちの旅・寄り添う看護」、第二講演の渡邊正医師「寄り添う看護と医療」、そして会員発表の①「患者の自己実現に向けての当院の取り組み」(慈生会病院・本間拓子)、②「新生児を看取るとき、私たちにできること」(聖霊病院・小嶋紀子)、③「その人らしく生きられるように」(光ヶ丘スペルマン病院・赤井聖子)、④「あるカトリック女子校における性教育の試み」(聖カピタニオ女子高等学校・宮本信代)、⑤「日本における家族の保健医療～高齢者を囲む現状と課題」(深沢地域包括支援センター・清水みどり)、⑥「ブラジル南東部の出産事情」(浜松医科大学 医学部看護学科・久保田君枝)でした。それらの内容の充実とともに、プログラムと運営全体の手作り感など、参加者の皆様から、概ねご満足いただけただけです。今後もJCNAらしい温かい全国大会を続けてまいりましょう。

2. 第49回JCNA全国大会(鹿児島)について

・プログラムの準備状況、参加要領などの案内があり、資料が配布されました。3頁をご覧ください。

3. 2006年度のJCNA全国総会および本部役員会についての報告

・その内容についての全国の会員へのご報告は、従来支部長を介して行ってまいりましたが、JCNA通信No.3及びNo.4に掲載し、全会員に配布する形に変更いたしました。

・2008年度の第52回全国総会は「会長」と「本部役員」両方の選挙の年にあたることを確認されました。

4. 第50回JCNA全国大会(2008)開催地候補について

大会開催について大阪支部より了解を戴いており、大会実行委員長・濱崎ヨウ子氏より、現在までの準備状況が説明されました。会期は2008年9月26日(金)～27日(土)大阪で開催される予定です。

5. 第51回JCNA全国大会(2009)開催地候補

同様に長崎支部より了解を戴いており、支部長より状況説明がなされました。会期・会場は未定です。

II. 審議事項

1. 第50回JCNA全国総会（2006）よりの継続審議＝代議員制について

この一年をかけて支部で話し合いを深めていただき、その結果を各支部長または代理に意見を発表していただきました。「従来どおりの組織運営でよい」、との意見が大多数を占め、この時点で発案支部の東京支部からも「全会の総意と受け止め、これ以上の発言はしない。採決をとるまでもない。支部にはありのまま報告いたします」との発言があり、総会議員の了承のもと審議を終えました。

2. 平成18年度（2006）JCNA会計決算の承認

本部会計担当のSr.沢より決算報告があり、質疑応答がなされました。

会計監査より提出された監査報告書が代読され、承認されました。

3. 本部役員諸経費について

趣意について薄島会長より説明があり、2006年度本部役員の交通費は各役員に個人負担をしていただいていたが、「2007年度はせめて交通費の半額を本部会計から支出するよう予算に組みたい」と提案されました。意見交換の後にこの提案に関しては「今後は個人負担が解消されるようにすべきである」という意見が強く出され了承されました。

4. 平成19年度（2007）JCNA会計予算の承認

前記の決議を受けて本部会計担当のSr.沢より予算案について説明があり、質疑応答のうえ、議決に入り承認されました。意見として「会員増のための策を講じること」や、「今年度の役員交通費は実費を記録しておくこと」などが求められました。

その他

長崎支部より、殉教者列福式についてのインフォメーションがあり、特に列福式開催時の救護班が多く要請されていることから、JCNAあがての協力参加を求められ、支部長方も了解されました。

総会ミサ＝飯野、川上両司祭による「聖霊降臨祭」の共同司式ミサが捧げられ、全国会員の霊的成長とJCNAへの聖霊の照らしと導きが特に祈られました。総会は予定の議事を終了し、「会歌」を合唱して閉会しました。

JCNA平成18年度決算書 及び 平成19年度予算書

平成18年度日本カトリック看護協会収支決算書
(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(収入の部)		予算	決算	差異	摘要
前年度繰越金	4,414,381	4,414,381			
協会費	1,120,000	1,200,000	△ 80,000	正会員299名、準会員2名	
寄付金	0	57,560	△ 57,560	会員および顧問司祭からの寄付	
預金利息	500	763	△ 263		
合計	5,534,881	5,672,704	△ 137,823		

(支出の部)		今年度予算	今年度決算	差異	摘要
管理費	540,000	391,988	148,012		
国際渉外費	75,000	60,282	14,738	CICIAMS年会費	
国内渉外費	20,000	2,730	17,270	医師会合同会議茶菓	
人件費	100,000	100,000	0	事務局7人バイト	
本部役員会会場費	60,000	24,000	36,000	役員会会場費	
通信運搬費	70,000	22,090	47,910	JCNA通信、資料等送料	
旅費交通費	100,000	100,000	0	役員交通費補助	
印刷費	30,000	2,940	27,060	資料コピー代	
消耗品費	10,000	9,966	34	封筒、コピー用紙、ラベル	
施設使用料	60,000	60,000	0	事務局施設使用料@5000×12ヶ月	
公認団体登録料	10,000	10,000	0		
雑費	5,000	0	5,000		
事業費	760,000	448,240	311,760		
全国大会費	100,000	100,000	0	大会奨励金	
全国総会費	380,000	316,200	63,800	支部代表1名分交通費・会場費	
JCNA広報関係費	80,000	32,040	47,960	JCNA通信作成費(2回発行)	
CICIAMS関連費	200,000	0	200,000		
予備費	20,000	0	20,000		
当年度合計	1,320,000	840,228	479,772		
次年度繰越金	4,214,881	4,832,476	△ 617,595		
合計	5,534,881	5,672,704	△ 137,823		

平成19年度日本カトリック看護協会予算書
(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(収入の部)		今年度予算	前年度決算	増減	摘要
前年度繰越金	4,832,476	4,414,381			
協会費	1,160,000	1,200,000	△ 40,000	@4000×290名	
寄付金	0	57,560	△ 57,560		
預金利息	500	763	△ 263		
合計	5,992,976	5,672,704	320,272		

(支出の部)		今年度予算	前年度決算	増減	摘要
管理費	694,000	391,988	302,012		
国際渉外費	100,000	60,282	39,738	CICIAMS年会費、マレーシア60周年祝金	
国内渉外費	20,000	2,730	17,270		
人件費	100,000	100,000	0	事務局アルバイト年契約	
本部役員会会場費	32,000	24,000	8,000	@8000×4回予定	
通信運搬費	50,000	22,090	27,910		
旅費交通費	300,000	100,000	200,000	役員半額負担、事務局交通費	
印刷費	10,000	2,940	7,060	会議資料、総会資料印刷	
消耗品費	10,000	9,966	34	事務用品	
施設使用料	60,000	60,000	0	事務局施設使用料@5000×12ヶ月	
公認団体登録料	10,000	10,000	0	登録更新費用	
雑費	2,000	0	2,000		
事業費	1,000,000	448,240	551,760		
全国大会費	200,000	100,000	100,000	大会奨励金(鹿児島開催)	
全国総会費	500,000	316,200	183,800	会議員交通費・会場費	
JCNA広報関係費	100,000	32,040	67,960	JCNA通信発行、ホームページ運営費	
CICIAMS関連費	200,000	0	200,000		
予備費	20,000	0	20,000		
当年度合計	1,714,000	840,228	873,772		
次年度繰越金	4,278,976	4,832,476	△ 553,500		
合計	5,992,976	5,672,704	320,272		

第49回JCNAN全国大会 ご案内

テーマ **寄り添う看護 ～マリアの心で「いのち」のケアを～**

開催日 2007年11月9日(金), 10日(土)

会場 鹿児島純心女子大学内 「江角ホール」

11月9日(金)

12:30～ 受付
13:30～14:00 開会式
14:15～15:15 講演「カトリックナースの使命」糸永 真一司教(鹿児島前教区長)
15:45～17:00 講演「あたたかい医療を考える」三島 盛武氏(鹿児島純心女子短期大学教授)
17:00～18:00 学内ミニツアー もしくは 薩摩川内市のキリスト教関係歴史探訪(希望者)
18:00～20:00 親睦会(会場 鹿児島純心女子大学 アンフィ)

11月10日(土)

9:00～10:40 会員発表
11:00～12:00 講演「医療者と宗教的対話」(仮題) ソットコルノラ師
(真命山・諸宗教対話・霊性交流センター長)
12:00～13:00 大会ミサ 主司式 郡山 健次郎司教(鹿児島教区長)
(会場 鹿児島純心女子大学 チャペル)
ミサ終了後 写真撮影
13:00～13:15 閉会式
13:15～14:00 昼食(会場 鹿児島純心女子大学 ラウンジ)

*オプション 「ザビエルの足跡をたどって」バスツアー

薩摩川内市・大学⇒ 伊集院:ザビエル接見地 ⇒ 鹿児島市:ザビエル教会・ザビエル公園・福昌寺・祇園之洲公園(ザビエル上陸地)など。

第49回JCNAN全国大会(鹿児島)参加申込についてのお知らせ

(1) **大会参加費 12,000円** 「参加申込書(FAX)」に必要事項を記入して大会事務局宛に FAXまたは郵送し、参加費を郵便振込してください。**締め切り 2007年9月15日まで**

郵便振込口座番号 01750-9-119312 加入者名 JCNAN

大会事務局 ☎895-0011 鹿児島県薩摩川内市天辰町2365

鹿児島純心女子大学 看護栄養学部看護学科 第49回JCNAN全国大会事務局 高平百合子 さま宛

FAX番号 0996-23-5030 TEL 0996-23-5311

(2) 宿泊・交通機関の申込書について=配布された「宿泊・交通機関等申込書」を**9月15日までにFAX** 又は郵送で送付。受付後に「予約回答書・宿泊その他の引換券・請求書」が本人に送付されます。

送付先 〒892-0842

鹿児島市東千石町1-1 第八川北ビル2階 ケイ・エヌ・ティ近畿ツーリスト(株)鹿児島支店

「第49回日本カトリック看護協会 全国大会 in鹿児島」係

TEL 099-223-3205 **FAX** 099-239-8159 (休業日 土・日・祝日)

(1)および(2)の用紙は支部長宛に配布されています。

日本カトリック医師会、日本カトリック医療施設協会および日本カトリック看護協会による 第一回三者連絡会（仮称）ご報告

J C N A全国総会の後、上記の三者による会合が持たれました。

出席者：日本カトリック医師会 石島武一会長、竹内正也名誉会長
日本カトリック医療施設協会 Sr.古川正子会長、Sr.舞原節子（姫路聖マリア病院）
Sr.高見テル子（ガラシア病院）
日本カトリック看護協会 Sr.川原 恵、外村 新（聖霊病院）韓 宗勲（老健サンタマリア）
薄島和子会長、Sr.沢 礼子、河野小夜子、清水みどり
Fr.川上 誠、Fr.飯野 雅彦
オブザーバーとしてJCNA各支部長10余名。

総合司会の石島医師会会長より、この会合を持つに至った経緯について次のような説明がなされました。

それぞれ活発に三協会は活動中だが、横の連絡が薄い。竹内前医師会会長の時から願いはあった。2006医療協全国大会で古川医療協会会長より石島医師会会長に提案あり、三者の話し合いを実現すべく、まず2006年12月のJCNA本部役員会に医師会側が招かれ、ここに三者が会合を持つに至った。

各会の出席者の紹介があり、互いの状況説明とこの会合に対する発言がありました。（以下、要約抜粋）

- ・ 互いが知り合ったうえで、やれることは何か。現代は医療受難時代であり、我々はカトリックの医療をどのように守るか、それぞれの立場で使命がある。カトリックの中での在り方を明確にする必要がある。
- ・ これまでも三者が協力し合えないかという声はあったが続かなかつた。続けられなかつた経緯もあることを知る必要がある。
- ・ この会合の在り方として、経団連の例がある。各々が完全に独立しており、それらの上に傘をかぶせるかたちをイメージしている。
- ・ カトリック病院においてもカトリック職員が少ない現状となつてきている。
- ・ カトリック施設の減少40⇒25もある。
- ・ 経団連の例のように「まとめ役」が必要。
- ・ まず連絡を取り合う。連絡委員の存在として各会より2～3名が適当。
- ・ 準備会があと2回くらい必要。
- ・ 次回を7月20～21日の医療協の大会期間内に会合を持つことはどうか。
- ・ 三協会の違いをもっとはっきりさせておく必要があるのでは。その方が次回の話し合いが深くなる。何ができて、何ができないのか。
- ・ 個人単位の参加と施設単位の参加の違いがある。
- ・ 再出発に向けて合同会議を持つことの意義も検討したい。方法として4年に1回くらい集まってみてもよいのではないか。合同かシンポジウムの形で。
- ・ 毎年連絡会を持ち、そこには各会の代表が集まるのがよい。オブザーバーは自由として。
- ・ 二つの道の提示として①カトリック信徒の精神を浸透させる手段として共通認識をもち、問題を掘り起こし、共同のものを模索していく。②合同の大会をもつ。
- ・ 医師会のフィリピンでの活動を通して若い学生、看護学生が感動を受ける、という紹介ができる。
- ・ カトリック新聞の活用はどうか。この連絡会のニュースを載せたらいい。
- ・ 医師がどこで働きたいと考えているか、知らせていくことも我々の使命ではないか。
- ・ 制度が変わっていくことについていち早く勉強していくことが必要。
- ・ これからの後継者を育てていく責任を考えたい。
- ・ 全国大会に参加した一般参加者は感動を得ている。現在、研修会の乱立のなかでカトリックとして価値あるものをおこなっていく使命を感じている。
- ・ 若いカトリック者を育てるために、看護専門学校、看護大学などとの連携も大切である。この連絡会と共に進めてはどうか。

三協会の連絡を取り合うなんらかの形を作ることについて、三者は賛成の意見の一致をみました。

今後はこの会合について組織、名称、事務局、会費、開催時期、その内容などについて検討していく必要があること。「今から可能性のあることに向けて歩むことにしよう」という三者の意見の一致を見て、連絡会発足の意義を確認しました。

今回は2007年7月21日（土）医療施設協会全国大会終了後、姫路聖マリア病院にて開催予定。